

洞爺湖町は、北海道南部に位置し、平成18年3月27日に虻田町と洞爺村が合併し、「洞爺湖町」として生まれ変わりました。

東には伊達市、壮瞥町、北は豊浦町に接し、湖（洞爺湖）と山（有珠山）と海（噴火湾）に囲まれた自然豊かな町です。

洞爺湖町を中心とする地域は本道においても、もっとも気候温暖な地方で北海道の湘南地方と呼ばれ、交通の便もよく観光景観に恵まれていることから北海道有数の観光地となっており、洞爺湖温泉は、2010年、温泉誕生から100年を向かえました。

位置と地勢

北海道道央地域の南部「支笏湖洞爺国立公園」区域にあり、総面積は181平方キロメートルあります。

下台地が洞爺湖の美しい水面に向かって南傾斜し、北の高台地は羊蹄山麓に続いています。

内浦湾の影響を受け春がやや不順ですが、晩秋は良好。盛夏時には、札幌などと類似した大陸型の様相となります。

洞爺湖によって適度な湿度が供給され、農業に適した気候条件です。

人口（平成23年3月末現在）

総世帯数	総人口	男	女
5,108 世帯	10,089 人	4,709 人	5,380 人

